



令和 7 年

消防統計

火 災 統 計

救 急 統 計

救 助 統 計

大崎地域広域行政事務組合

消防本部

目 次

第1章 火災統計

1	大崎管内における火災概要	1
	火災件数	1
	火災種別ごとの火災件数	2
	月別の火災件数	2
2	死傷者等の発生状況	3
3	損害額・出火率	4
4	出火原因	5

第2章 救急統計

1	大崎管内における救急業務の実施状況	6
2	事故種別出動件数及び搬送人員状況	6
3	救急隊別出動状況	7
4	市町別出動状況	8
5	傷病程度別、年齢別搬送人員状況	8
6	月別救急出動状況	9
7	収容先別搬送人員状況	10
8	ドクターヘリ要請件数状況	10
9	救急隊員の行った救急処置状況	11
10	PA連携出動状況	12

第3章 応急手当講習会等の概要

1	講習会の開催状況	13
2	性別・年齢別受講者状況	14
3	講習会開催の推移	15
4	講習会の効果	16

第4章 救助統計

1	救助業務の概況	17
2	救助人員の傷病程度	18
3	救助事案発生場所	18

◆利用上の注意

- (1) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とならない。
- (2) 統計表中、「0.0」は集計した数値が表章単位に満たないものである。

第1章 火災統計

1 大崎管内における火災概要

火災件数

令和7年中における総火災件数は44件で、統計開始（昭和46年）以来、最少件数となっており、前年より5件減少し、約8.3日に1件の割合で発生したことになります。

また、市町別の火災件数は、大崎市31件(70.5%)、色麻町2件(4.5%)、加美町5件(11.4%)、涌谷町2件(4.5%)、美里町4件(9.1%)となっています。（表1・表2）

過去10年間の火災件数を比較すると、減少傾向であり、建物火災は10年前より約5割の火災件数となっております。（図1）

表1 市町別火災件数

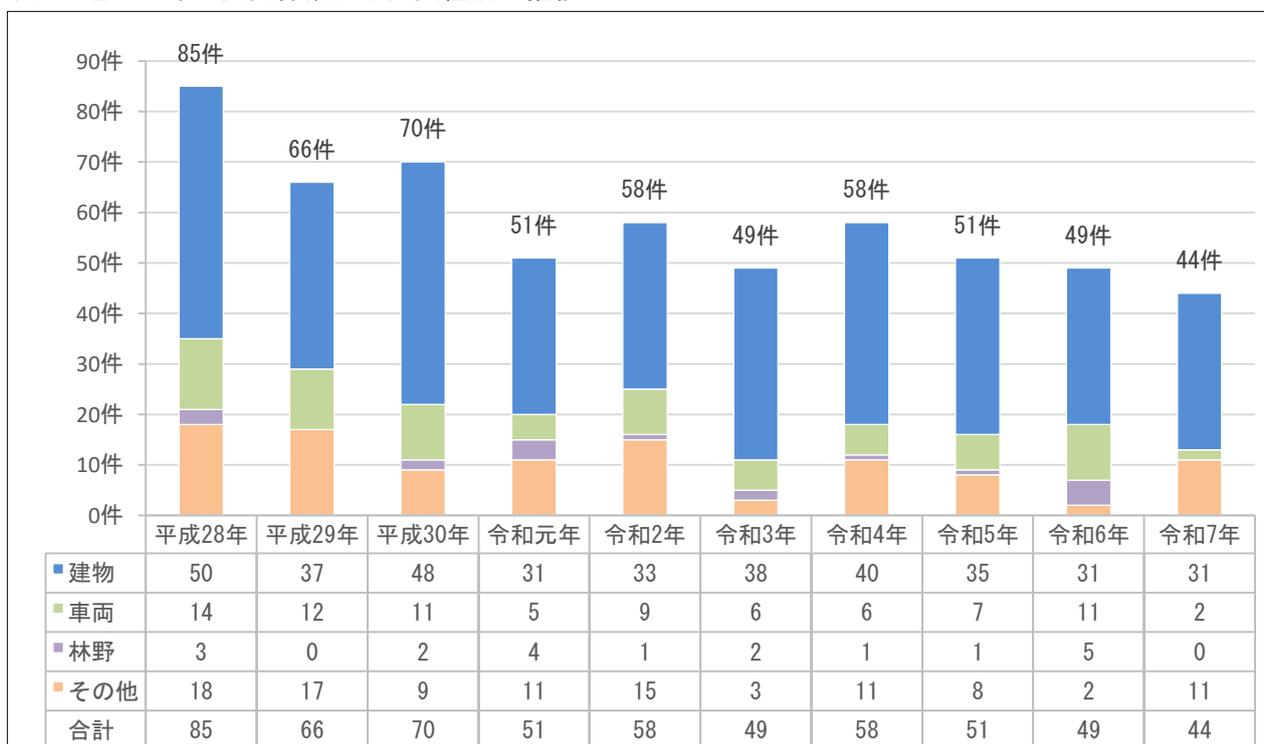
	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	計
令和7年	31	2	5	2	4	44
令和6年	27	3	9	3	7	49
比較	4	▲ 1	▲ 4	▲ 1	▲ 3	▲ 5

表2 市町別火災総括表

	火災件数					焼損棟数	り災		死者	負傷者	世帯数	人口
	合計	建物	車両	林野	その他		世帯	人員				
大崎市	31	23	1	0	7	39	21	44	4	3	53,170	120,285
色麻町	2	2	0	0	0	5	1	5	0	0	2,093	5,991
加美町	5	2	0	0	3	2	0	0	0	0	8,265	20,549
涌谷町	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	5,970	13,957
美里町	4	3	0	0	1	4	4	5	2	0	9,433	22,530
大崎圏全体	44	31	2	0	11	51	26	54	6	3	78,931	183,312

※世帯数・人口は令和7年12月末現在（宮城県住民基本台帳より）

図1 過去10年の火災件数及び火災種別の推移

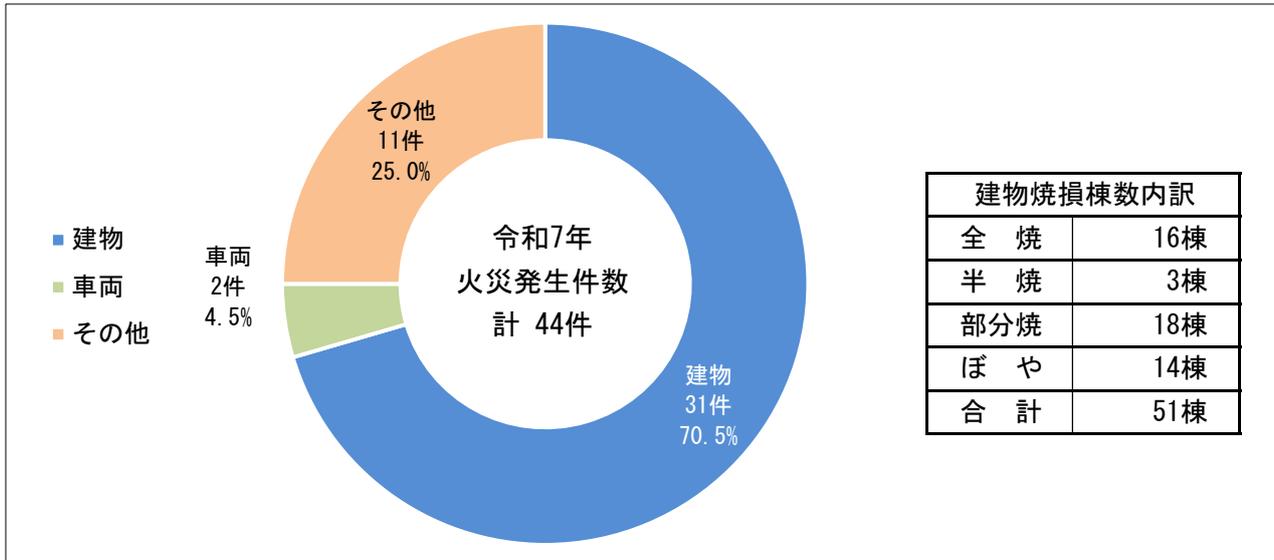


火災種別ごとの火災件数

火災種別ごとの火災件数は、建物火災が31件(70.5%)で前年同数、車両火災が2件(4.5%)で9件減少、林野火災が0件(0.0%)で5件減少、その他火災が11件(25.0%)で9件増加となっています。

(図1・図2)

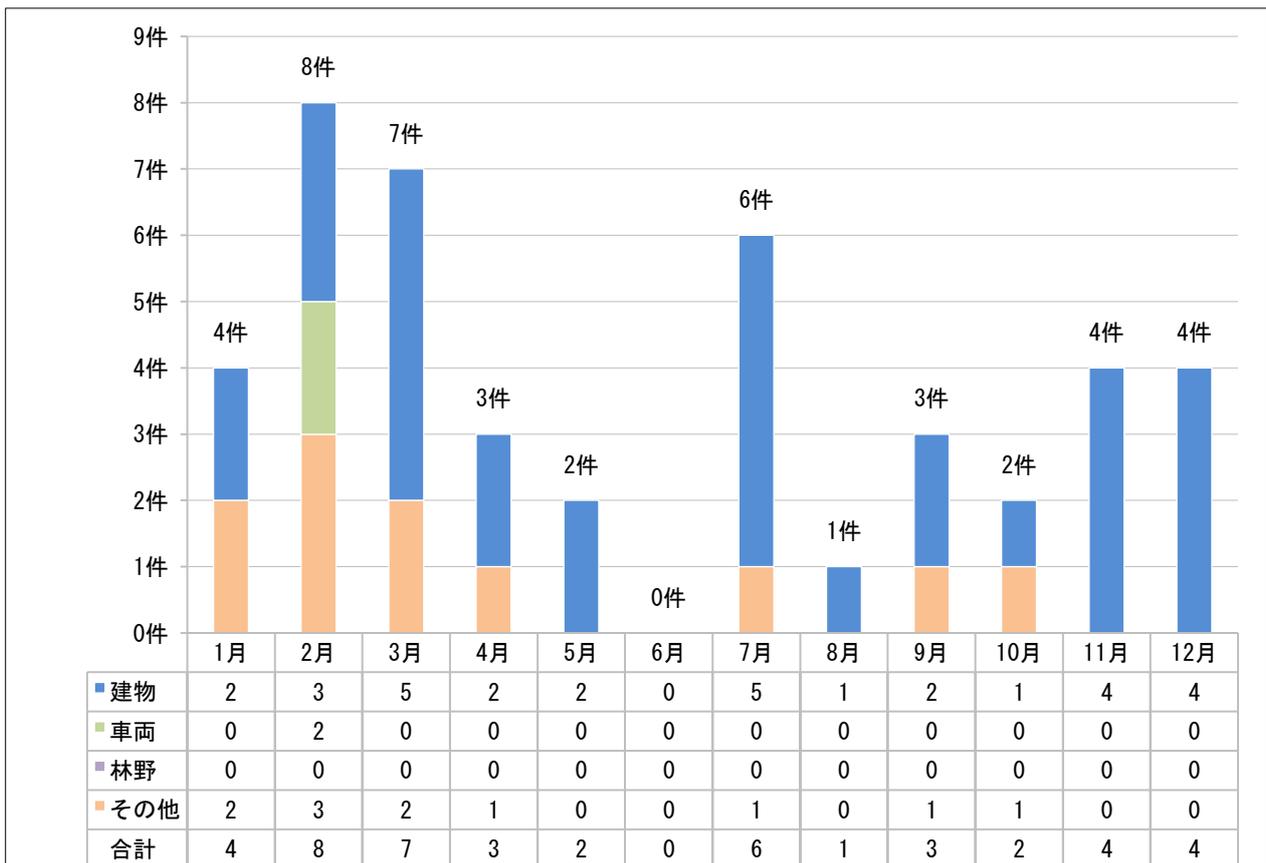
図2 火災発生状況



月別の火災件数

月別の火災件数は、2月に8件の火災が発生し全体の18.2%を占め、うち建物火災が3件発生しています。(図3)

図3 月別火災発生状況



2 死傷者等の発生状況

火災による死者数は6人で、前年より3人増加しています。火災種別ごとの死者数は、建物火災が5人、その他火災が1人となっています。

火災による負傷者は3人で、前年より4人減少しています。火災種別ごとの負傷者数は、建物火災が3人となっています。（図4・図5）

図4 火災種別死傷者発生状況

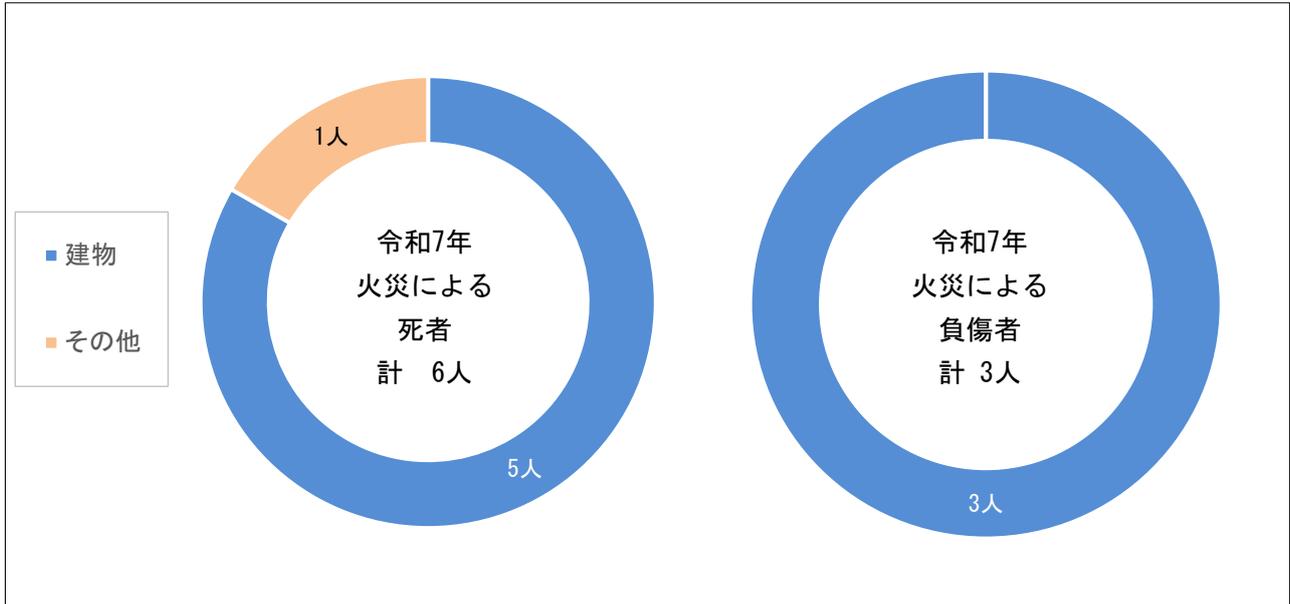
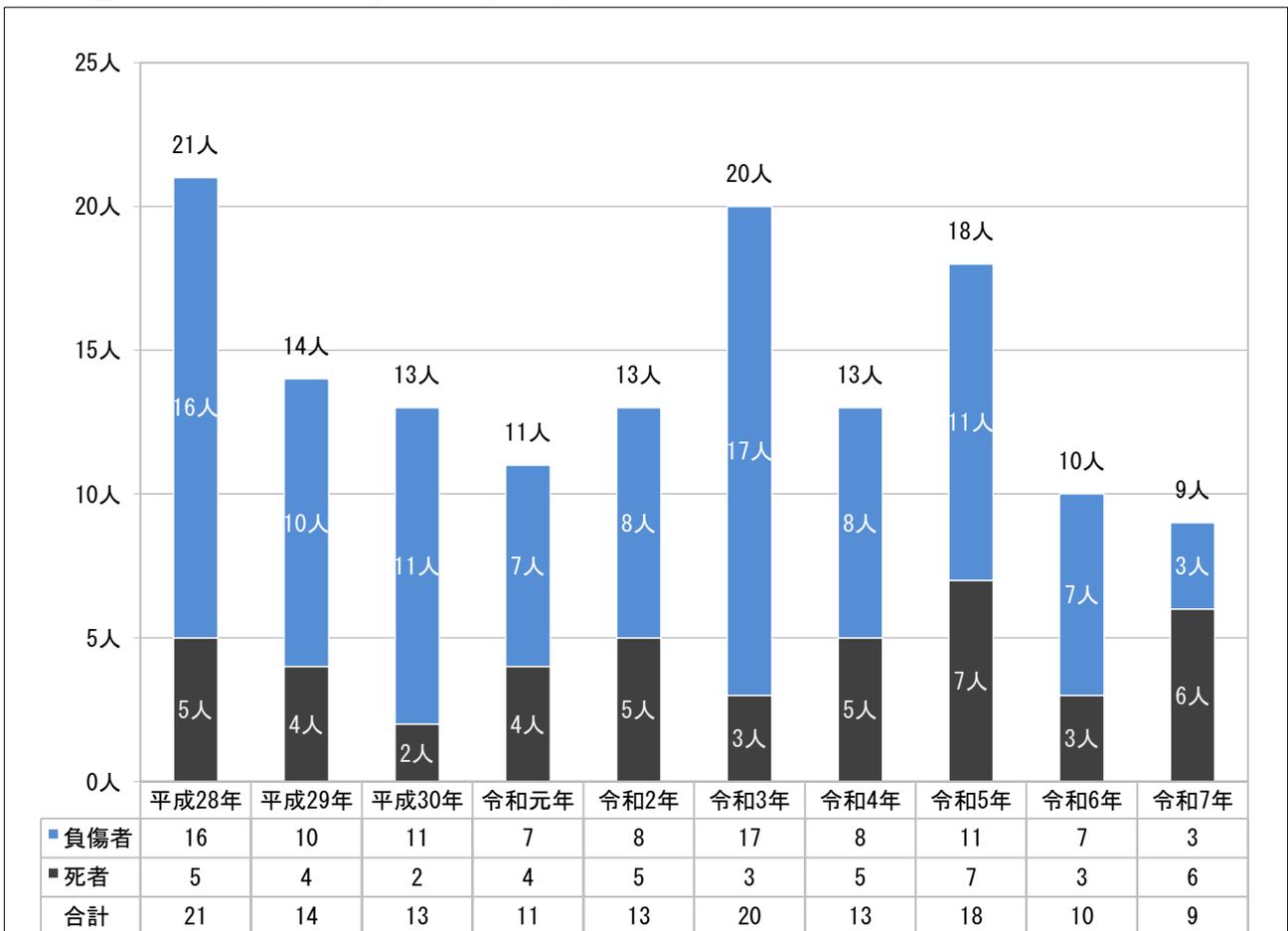


図5 過去10年間の火災による死傷者発生状況



3 損害額・出火率

火災による損害額は224,516千円で前年より153,899千円増加しました。

損害額の種別は、建物損害が219,014千円、車両損害が1,643千円、その他損害が3,859千円となっています。

火災1件当たりの平均損害額は5,103千円で、一世帯当たりの平均損害額は2,844円、住民一人当たりでは1,225円となっています。

出火率をみると、大崎圏全体は2.40件/万人で、前年と比較すると0.23件/万人の減少となります。

市町別にみると、色麻町が3.34件/万人と最も高く、次いで大崎市が2.58件/万人、加美町が2.43件/万人、美里町が1.78件/万人、涌谷町が1.43件/万人となっています。（表3・表4・図6）

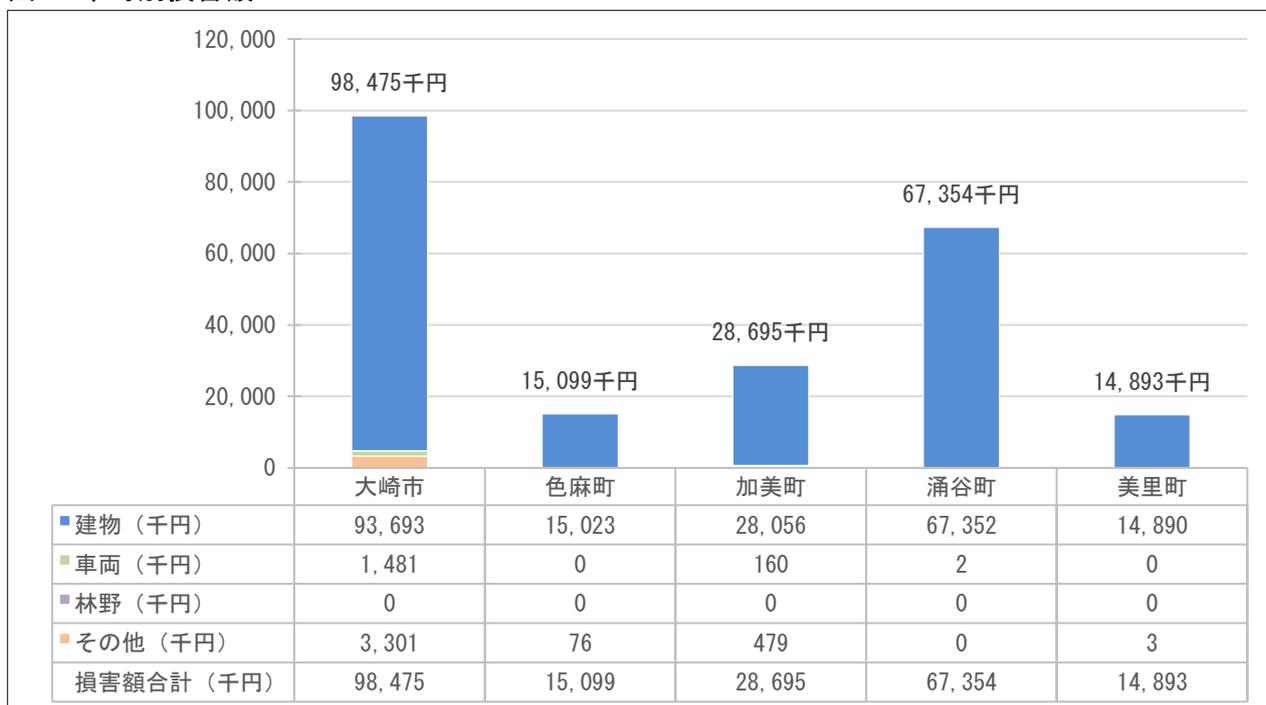
表3 火災種別損害額

	建物損害	車両損害	林野損害	その他損害	計
令和7年	219,014千円	1,643千円	0千円	3,859千円	224,516千円
令和6年	52,736千円	11,071千円	236千円	6,574千円	70,617千円
比較	166,278千円	▲ 9,428千円	▲ 236千円	▲ 2,715千円	153,899千円

表4 市町別損害額

	一万人 当り 出火率 (件/万人)	損 害 額				焼 損 面 積		
		総額 (千円)	1件当たり (千円)	一世帯 当たり (円)	一人 当たり (円)	建物 面積 (㎡)	1件 当たり (㎡)	林野 面積 (a)
大崎市	2.58	98,475	3,177	1,852	819	1,971	85.7	0
色麻町	3.34	15,099	7,550	7,214	2,520	774	387.0	0
加美町	2.43	28,695	5,739	3,472	1,396	144	72.0	0
涌谷町	1.43	67,354	33,677	11,282	4,826	1,321	1,321.0	0
美里町	1.78	14,893	3,723	1,579	661	96	32.0	0
大崎圏全体	2.40	224,516	5,103	2,844	1,225	4,306	138.9	0

図6 市町別損害額



4 出火原因

出火原因は、「放火」6件(13.6%),「電気機器」5件(11.4%),「電気装置」4件(9.1%),「たばこ」3件(6.8%),「こんろ」2件(4.5%),「ストーブ」2件(4.5%),「配線器具」2件(4.5%),「放火の疑い」2件(4.5%)の順になっています。(表5)

表5 出火原因

原因	年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
放火		11	6	2	3	8	3	4	3	5	6
電気機器		1	1	3	2	0	2	0	4	1	5
電気装置		0	0	0	1	1	1	0	3	0	4
たばこ		5	6	8	8	2	8	6	3	2	3
こんろ		6	3	4	2	1	1	3	2	3	2
ストーブ		6	1	7	3	5	2	1	2	3	2
配線器具		3	1	2	3	2	1	4	1	2	2
放火の疑い		5	7	9	2	3	0	0	1	0	2
煙突・煙道		0	1	2	2	2	2	1	0	2	1
焼却炉		1	0	0	3	2	2	0	0	0	1
内燃機関		0	1	1	0	0	1	2	0	0	1
マッチ・ライター		2	3	0	1	0	0	0	0	0	1
灯火		1	1	2	1	2	0	0	0	0	0
衝突の火花		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
取灰		0	1	1	0	2	2	1	2	1	0
火入れ		4	2	4	2	3	1	5	5	4	0
かまど		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風呂かまど		0	0	0	0	0	1	1	2	1	0
炉		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こたつ		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ボイラー		0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
排気管		4	4	5	1	3	0	0	1	2	0
電灯・電話等配線		3	4	2	1	3	3	0	2	2	0
火遊び		0	2	1	1	0	0	1	0	0	0
たき火		1	0	3	1	2	1	3	4	3	0
溶接・切断機		1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
その他		10	14	8	7	13	8	15	11	13	13
不明		20	8	5	6	4	10	8	4	5	1
合計		85	66	70	51	58	49	58	51	49	44

第2章 救急統計

1 大崎管内における救急業務の実施状況

救急出動件数

令和7年における救急出動件数は、9,973件(前年比77件減)で搬送人員が8,825人(前年比104人減)となっております。これは、月平均で約831.1件、一日平均で約27.3件(約52.7分に1件)の割合で救急隊が出動し、管内の約20.8人に1人(約8.9世帯に1人)が救急隊により搬送されたこととなります。

(表6・図7)

※大崎管内の世帯数及び人口：78,931世帯,183,312人(令和7年12月)

2 事故種別出動件数及び搬送人員状況

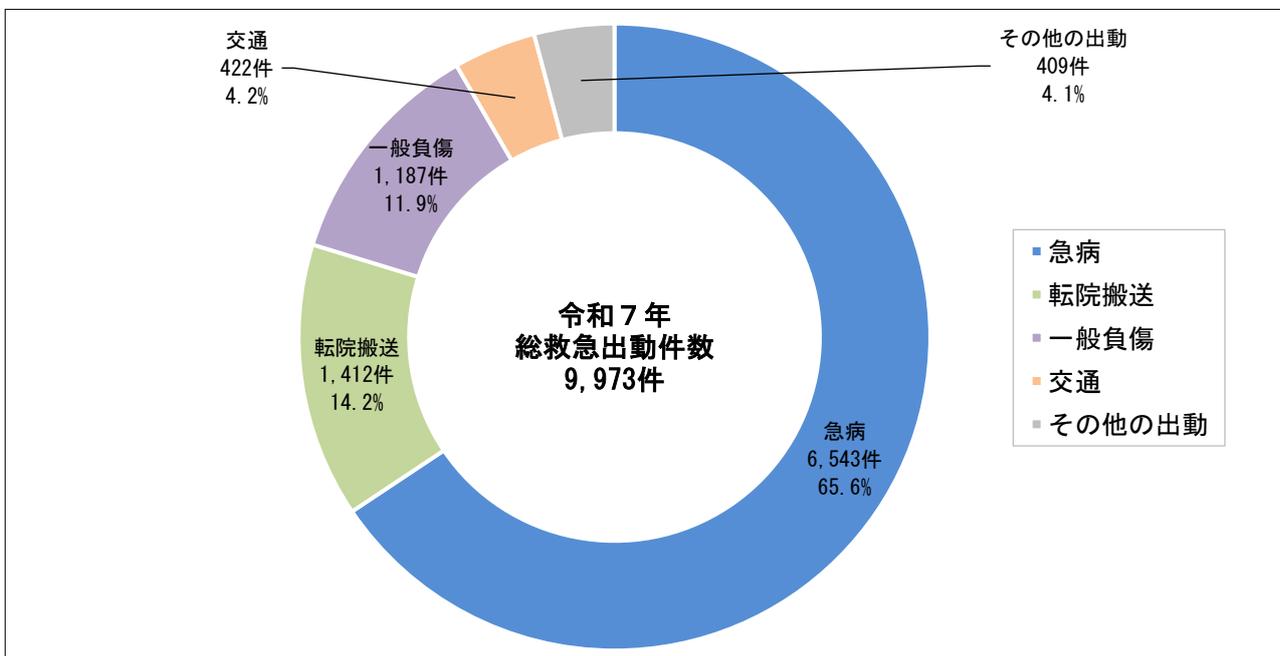
事故種別ごとの出動件数は、急病が6,543件(前年比60件減)と全出動件数の65.61%を占め、次いで転院搬送の1,412件(前年比64件減)、一般負傷の1,187件(前年比53件増)、交通の422件(前年比19件増)の順となりました。

搬送人員は、急病5,722人(前年比111人減)、転院搬送1,411人(前年比63人減)、一般負傷1,065人(前年比35人増)、交通389人(前年比33人増)の順となりました。(表6・図7)

表6 救急出動状況

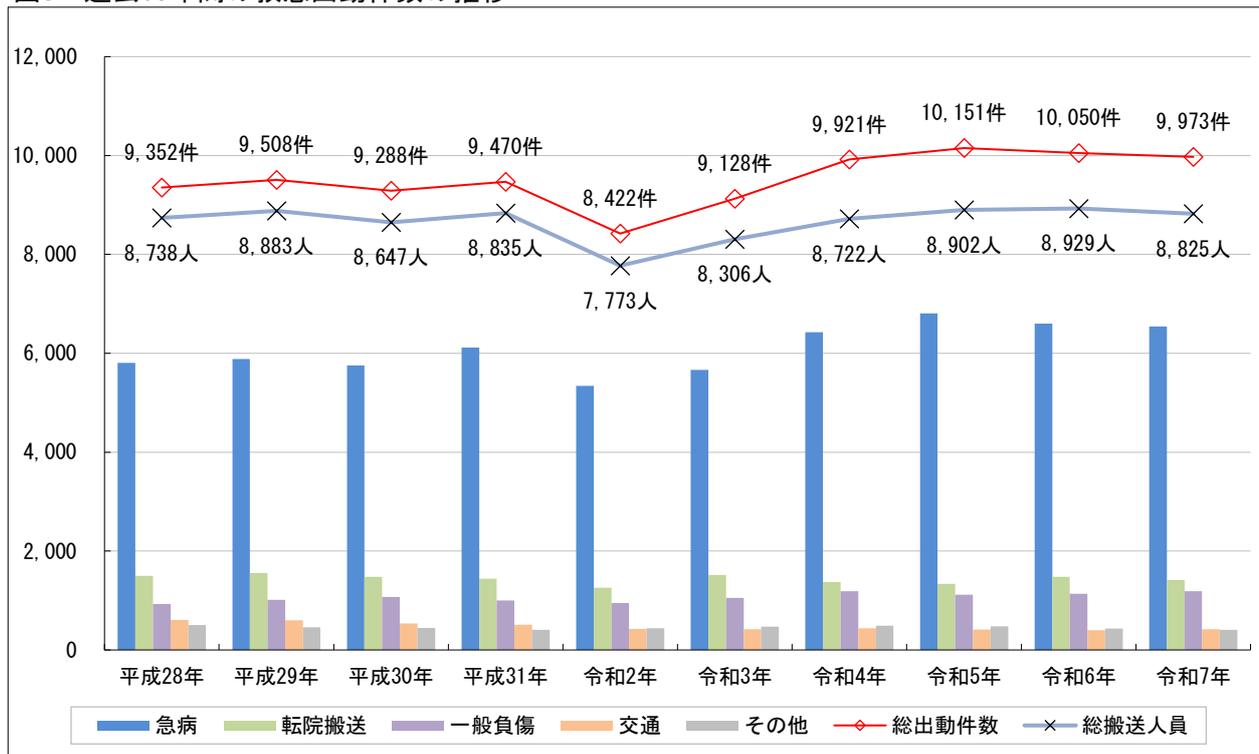
区分	年別比較	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
出動件数	令和7年	9,973	37	1	3	422	102	52	1,187	34	84	6,543	1,412	0	11	85
	令和6年	10,050	37	1	4	403	76	58	1,134	34	104	6,603	1,476	0	20	100
	前年比	▲77	0	0	▲1	19	26	▲6	53	0	▲20	▲60	▲64	0	▲9	▲15
不搬送件数	令和7年	1,196	34	1	1	70	3	4	123	8	27	828	1	0	11	85
	令和6年	1,171	30	0	4	85	4	2	107	8	32	776	3	0	20	100
	前年比	25	4	1	▲3	▲15	▲1	2	16	0	▲5	52	▲2	0	▲9	▲15
搬送人員	令和7年	8,825	3	0	2	389	100	48	1,065	28	57	5,722	1,411	0	0	0
	令和6年	8,929	7	1	0	356	72	57	1,030	27	72	5,833	1,474	0	0	0
	前年比	▲104	▲4	▲1	2	33	28	▲9	35	1	▲15	▲111	▲63	0	0	0

図7 救急出動状況



統計開始からの件数を比較すると、令和7年は過去3番目に多い出動件数となり、過去6番目に多い搬送人員となりました。(図8)

図8 過去10年間の救急出動件数の推移



3 救急隊別出動状況

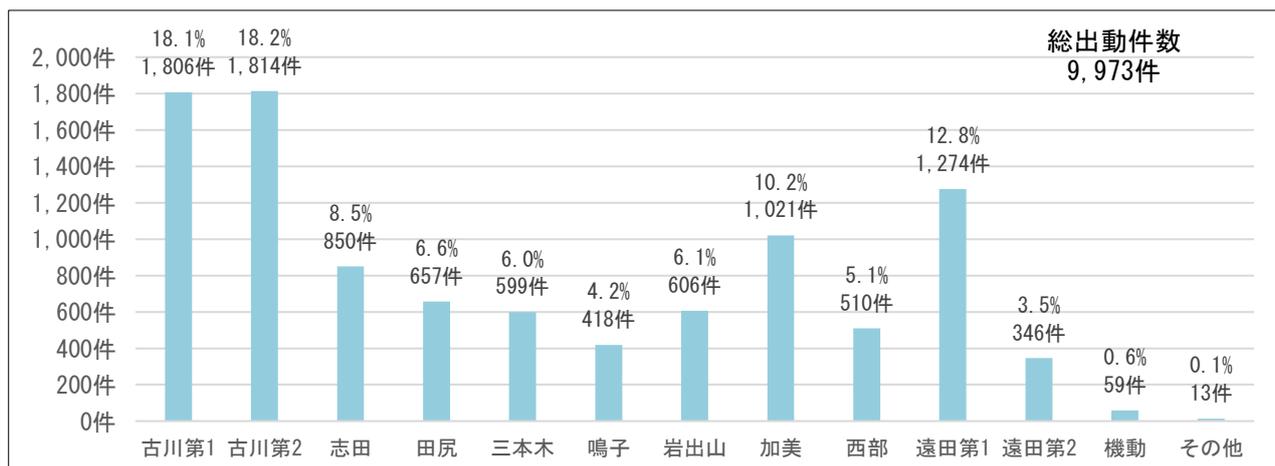
救急隊別の出動状況を前年比でみると、本部機動救急隊の運用終了に伴い、古川第1救急隊及び第2救急隊、三本木救急隊の出動件数が増加しましたが、岩出山救急隊及び志田救急隊の出動件数は50件を超える減少となり、合計で77件減少しました。(表7・図9)

表7 救急隊別出動状況

	古川第1	古川第2	志田	田尻	三本木	鳴子	岩出山	加美	西部	遠田第1	遠田第2	機動	その他	合計
令和7年	1,806	1,814	850	657	599	418	606	1,021	510	1,274	346	※ 59	13	9,973
令和6年	1,642	1,630	900	657	540	447	681	996	499	1,308	369	380	1	10,050
比較	▲164	▲184	▲50	0	▲59	▲29	▲75	▲25	▲11	▲34	▲23	▲321	▲12	▲77

※令和7年3月31日まで運用

図9 救急隊別出動状況

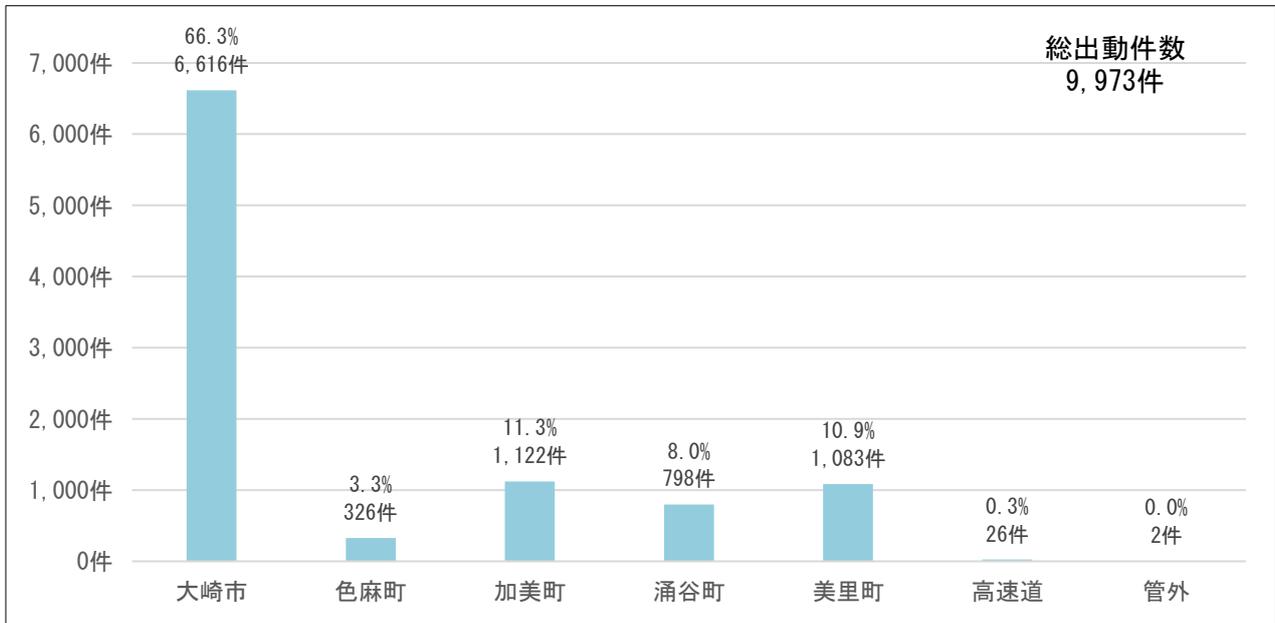


4 市町別出動状況

市町別の出動件数は、大崎市が6,616件、色麻町が326件、加美町が1,122件、涌谷町が798件、美里町が1,083件となりました。

また、高速道(東北自動車道)に26件、管外への出動は2件でした。(図10)

図10 市町別救急出動件数



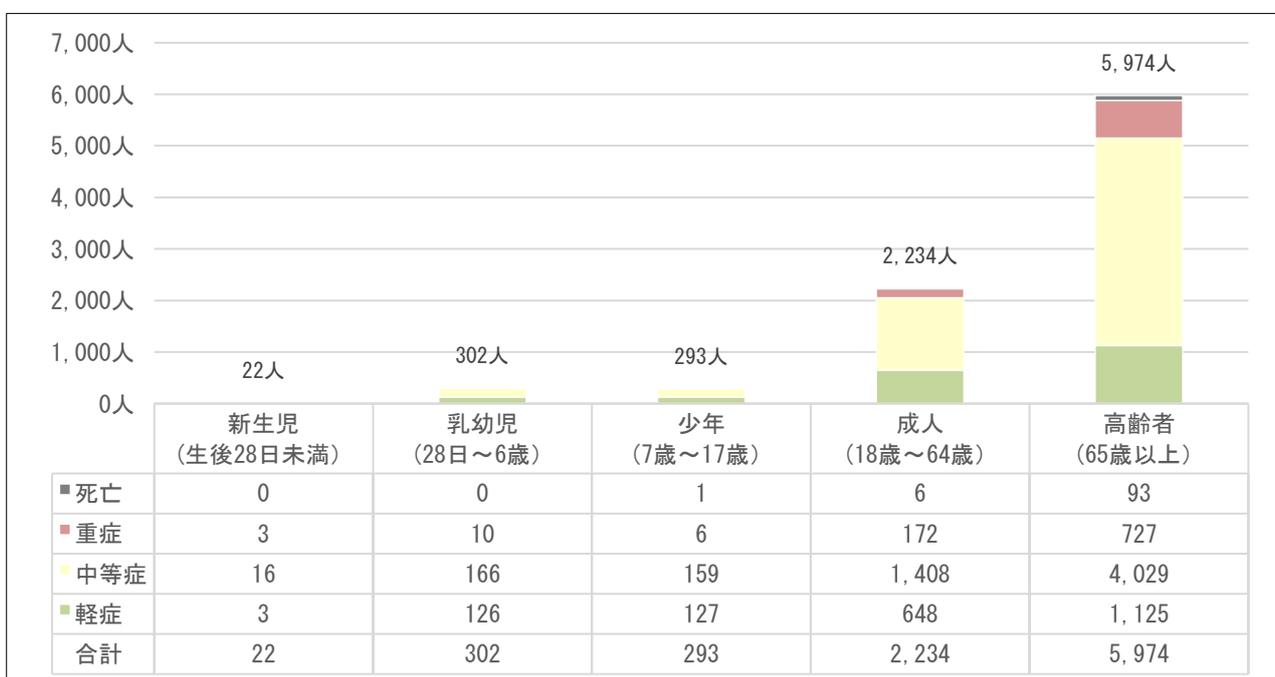
5 傷病程度別、年齢別搬送人員状況

搬送した8,825人の傷病程度は、死亡100人、重症918人、中等症5,778人、軽症2,029人と診断されています。

死亡、重症、中等症の傷病者の割合は全体の77.0%、入院加療を必要としない軽症の傷病者の割合は23.0%となります。

また、年齢別では高齢者(65歳以上)が全体の67.7%を占めました。(図11)

図11 傷病程度別・年齢別搬送人員状況



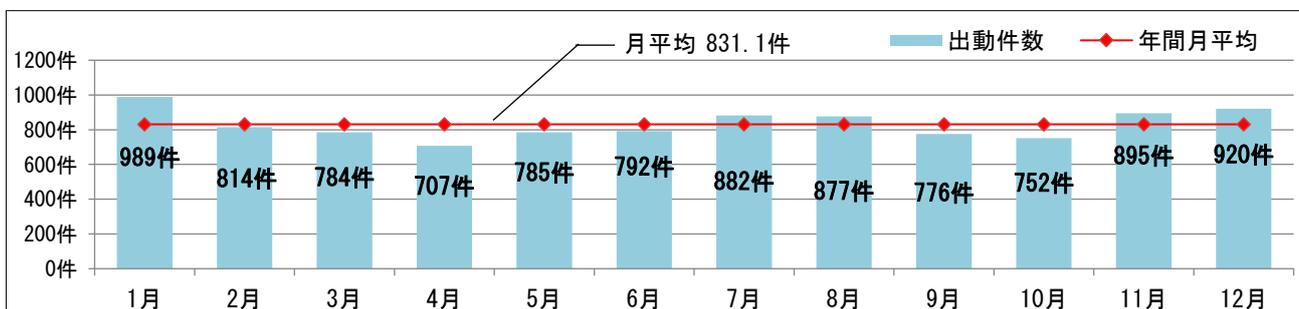
6 月別救急出動状況

救急隊の1か月の平均出動件数は約831.1件で、最も多い月は1月で989件、次いで12月の920件となっています。（表8・図12）

表8 月別及び事故種別毎出動・搬送等状況

月別	区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	出動件数	989	3	0	0	32	3	2	103	2	9	685	145	0	2	3
	搬送件数	865	0	0	0	25	3	2	94	2	7	587	145	0	0	0
	搬送人員	865	0	0	0	25	3	2	94	2	7	587	145	0	0	0
2月	出動件数	814	7	0	1	26	8	1	95	5	8	538	112	0	1	12
	搬送件数	714	0	0	1	20	8	1	85	4	8	475	112	0	0	0
	搬送人員	718	0	0	1	24	8	1	85	4	8	475	112	0	0	0
3月	出動件数	784	7	0	0	36	4	5	76	3	6	535	107	0	0	5
	搬送件数	682	1	0	0	26	4	4	72	3	3	462	107	0	0	0
	搬送人員	685	1	0	0	28	4	4	72	3	3	463	107	0	0	0
4月	出動件数	707	1	0	0	33	4	8	90	2	8	436	118	0	1	6
	搬送件数	626	0	0	0	26	4	8	82	2	5	381	118	0	0	0
	搬送人員	626	0	0	0	26	4	8	82	2	5	381	118	0	0	0
5月	出動件数	785	2	1	1	30	8	5	104	0	9	513	105	0	2	5
	搬送件数	692	0	0	0	26	8	5	92	0	6	450	105	0	0	0
	搬送人員	698	0	0	0	32	8	5	92	0	6	450	105	0	0	0
6月	出動件数	792	0	0	0	33	9	2	103	2	8	488	139	0	0	8
	搬送件数	719	0	0	0	28	9	2	95	2	5	439	139	0	0	0
	搬送人員	721	0	0	0	30	9	2	95	2	5	439	139	0	0	0
7月	出動件数	882	5	0	0	44	19	7	93	2	5	584	111	0	0	12
	搬送件数	778	0	0	0	43	19	5	84	2	4	510	111	0	0	0
	搬送人員	789	0	0	0	48	20	5	85	2	4	514	111	0	0	0
8月	出動件数	877	0	0	0	38	17	8	98	8	7	582	111	0	3	5
	搬送件数	788	0	0	0	29	17	7	88	6	3	527	111	0	0	0
	搬送人員	794	0	0	0	32	17	7	88	7	3	529	111	0	0	0
9月	出動件数	776	2	0	0	38	11	3	101	2	8	514	92	0	0	5
	搬送件数	684	0	0	0	33	10	3	88	1	6	451	92	0	0	0
	搬送人員	688	0	0	0	36	10	3	88	2	6	451	92	0	0	0
10月	出動件数	752	3	0	1	30	5	6	90	0	5	490	113	0	1	8
	搬送件数	664	1	0	1	27	4	6	82	0	3	427	113	0	0	0
	搬送人員	665	1	0	1	28	4	6	82	0	3	427	113	0	0	0
11月	出動件数	895	3	0	0	42	9	3	112	3	7	575	133	0	1	7
	搬送件数	787	0	0	0	39	8	3	98	3	6	498	132	0	0	0
	搬送人員	793	0	0	0	45	8	3	98	3	6	498	132	0	0	0
12月	出動件数	920	4	0	0	40	5	2	122	5	4	603	126	0	0	9
	搬送件数	778	1	0	0	30	5	2	104	1	1	508	126	0	0	0
	搬送人員	783	1	0	0	35	5	2	104	1	1	508	126	0	0	0
合計	出動件数	9,973	37	1	3	422	102	52	1,187	34	84	6,543	1,412	0	11	85
	搬送件数	8,777	3	0	2	352	99	48	1,064	26	57	5,715	1,411	0	0	0
	搬送人員	8,825	3	0	2	389	100	48	1,065	28	57	5,722	1,411	0	0	0

図12 月別救急出動件数



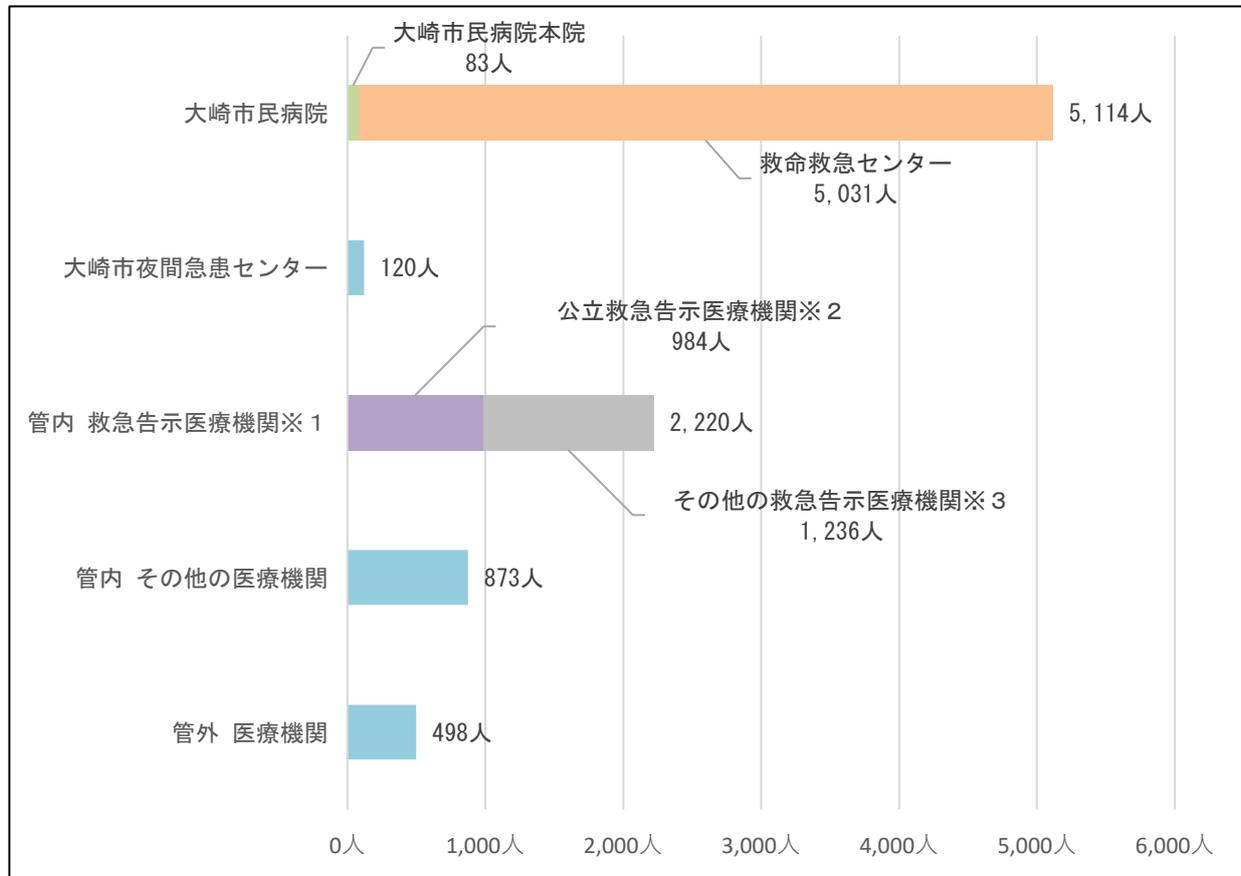
7 収容先別搬送人員状況

収容先別の搬送人員は、大崎市民病院(救命救急センター含む)が最も多い5,114人で、その割合は全搬送人員の57.9%となっています。

また、大崎市夜間急患センターへ120人が搬送されました。

大崎市民病院を除く大崎管内の救急告示医療機関には2,220人が搬送され、そのうち公立の救急告示医療機関には984人が搬送されました。(図13)

図13 収容先別搬送人員状況



※1 救急告示医療機関「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)第1条による医療機関
令和7年12月現在

※2 大崎市民病院鳴子温泉分院, 大崎市民病院岩出山分院, 大崎市民病院鹿島台分院, 涌谷町国民健康保険
病院, 美里町立南郷病院, 公立加美病院

※3 古川民主病院, 古川星陵病院, 三浦病院, 徳永整形外科病院, みやぎ北部循環器科, 東泉堂病院

8 ドクターヘリ要請件数状況

令和7年における大崎消防本部のドクターヘリ要請件数は21件で、救急隊と連携し現場活動を実施しているのは14件となり、7件は医師及び救急隊の現場判断等によりキャンセルとなっています。

(表9)

表9 ドクターヘリ要請件数

出動先	大崎市							色麻町	加美町			涌谷町	美里町		合計
	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子	田尻		中新田	小野田	宮崎		小牛田	南郷	
現場活動	0件	0件	0件	1件	0件	3件	1件	0件	0件	1件	3件	4件	0件	1件	14件
キャンセル	0件	0件	0件	2件	0件	3件	0件	0件	0件	1件	0件	1件	0件	0件	7件
件	10件							0件	5件			5件	1件		21件

9 救急隊員の行った救急処置状況

令和7年の搬送人員8,825人のうち、救急隊員が応急処置を行った傷病者は8,825人（搬送人員の100%）で、救急処置件数は42,577件となっています。（表10）

表10 救急隊員の行った救急処置件数

事故種別	傷病程度	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ		心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	気道確保	経鼻エアウェイ	喉頭鏡・鉗子等	ラリソグアルマスク等	気管挿管	保温	被覆	小計
						うち自動	うち自動											
急病	死亡	87	1	2	0	0	0	87	70	85	87	4	0	36	0	47	1	310
	重症	564	1	1	7	0	0	130	111	312	181	3	1	68	0	203	3	838
	中等症	3,668	15	31	6	0	0	2	1	651	70	0	0	0	0	812	26	1,613
	軽症	1,403	22	15	1	0	0	0	0	73	4	0	0	0	0	300	9	424
	計	5,722	39	49	14	0	0	219	182	1,121	342	7	1	104	0	1,362	39	3,185
交通事故	死亡	4	0	4	0	0	0	4	1	4	4	0	0	0	0	1	0	17
	重症	18	5	16	0	0	0	1	0	6	3	0	0	1	0	9	8	48
	中等症	222	17	148	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	45	34	259
	軽症	145	7	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	15	112
	計	389	29	237	0	0	0	5	1	25	7	0	0	1	0	76	57	436
一般負傷	死亡	6	0	1	0	0	0	6	4	6	6	0	1	2	1	3	0	22
	重症	45	3	18	0	0	0	7	7	13	8	0	2	6	2	13	6	68
	中等症	689	86	164	0	0	0	0	0	43	3	0	0	0	0	142	98	536
	軽症	325	72	33	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	45	111	263
	計	1,065	161	216	0	0	0	13	11	64	17	0	3	8	3	203	215	889
上記以外	死亡	3	0	0	0	0	0	3	3	3	3	0	0	2	0	2	0	11
	重症	291	5	14	2	0	0	11	10	117	19	0	0	6	0	65	6	239
	中等症	1,199	21	45	1	0	0	0	0	298	10	0	0	0	0	240	24	639
	軽症	156	10	7	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	18	10	64
	計	1,649	36	66	3	0	0	14	13	437	32	0	0	8	0	325	40	953
合計	死亡	100	1	7	0	0	0	100	78	98	100	4	1	40	1	53	1	360
	重症	918	14	49	9	0	0	149	128	448	211	3	3	81	2	290	23	1,193
	中等症	5,778	139	388	7	0	0	2	1	1,007	83	0	0	0	0	1,239	182	3,047
	軽症	2,029	111	124	1	0	0	0	0	94	4	0	0	0	0	384	145	863
	計	8,825	265	568	17	0	0	251	207	1,647	398	7	4	121	3	1,966	351	5,463

事故種別	傷病程度	応急処置対象人員	在宅療法継続			ショックパニックによる血圧の保持	除細動	静脈路確保（CPA前）	静脈路確保（CPA後）	薬剤投与	血糖測定	ブドウ糖投与	血圧測定	聴診器による心音・呼吸音の聴取	血中酸素飽和度の測定	心電図	伝送	その他の応急処置	小計	総計
			※A	※B	※C															
急病	死亡	87	1	0	1	0	6	0	34	23	0	0	10	67	12	79	0	77	309	619
	重症	564	4	0	3	0	12	15	74	63	20	0	466	273	469	546	52	547	2,489	3,327
	中等症	3,668	36	2	28	0	1	31	0	0	70	11	3,582	1,249	3,668	3,509	277	3,660	15,817	17,430
	軽症	1,403	11	0	11	0	0	6	0	0	12	5	1,345	348	1,398	1,279	30	1,400	5,804	6,228
	計	5,722	52	2	43	0	19	52	108	86	102	16	5,403	1,937	5,547	5,413	359	5,684	24,419	27,604
交通事故	死亡	4	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	4	0	4	12	29
	重症	18	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	17	14	17	16	0	18	83	131
	中等症	222	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	221	99	222	195	0	222	963	1,222
	軽症	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	142	44	145	114	0	144	589	701
	計	389	0	0	0	0	0	2	2	1	2	1	380	158	384	329	0	388	1,647	2,083
一般負傷	死亡	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5	1	5	0	5	18	40
	重症	45	0	0	0	0	1	3	6	6	0	0	39	20	39	38	2	43	195	263
	中等症	689	3	0	2	0	0	3	0	0	0	0	677	112	689	632	0	685	2,801	3,337
	軽症	325	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	303	50	323	257	0	322	1,255	1,518
	計	1,065	3	0	2	0	1	6	7	7	0	0	1,019	187	1,052	932	2	1,055	4,269	5,158
上記以外	死亡	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	3	0	3	9	20
	重症	291	0	0	0	0	1	1	3	2	0	0	273	55	278	280	9	287	1,180	1,419
	中等症	1,199	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1,179	257	1,199	1,133	47	1,191	4,961	5,600
	軽症	156	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	155	24	156	138	1	156	629	693
	計	1,649	0	0	0	0	1	1	4	3	2	0	1,607	337	1,633	1,554	57	1,637	6,779	7,732
合計	死亡	100	1	0	1	0	6	0	38	26	0	0	10	74	13	91	0	89	348	708
	重症	918	4	0	3	0	14	20	83	71	20	0	795	362	803	880	63	895	3,947	5,140
	中等症	5,778	39	2	30	0	1	35	0	0	74	12	5,659	1,717	5,778	5,469	324	5,758	24,542	27,589
	軽症	2,029	11	0	11	0	0	6	0	0	12	5	1,945	466	2,022	1,788	31	2,022	8,277	9,140
	計	8,825	55	2	45	0	21	61	121	97	106	17	8,409	2,619	8,616	8,228	418	8,764	37,114	42,577

在宅療法継続欄

※Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数

※Bには、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数

※Cには、※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数

10 PA連携出動状況

PA連携とは、消防ポンプ自動車（Pumper）が、救急要請内容により出動し、救急車（Ambulance）の活動を支援する連携活動のことで、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。

当消防本部では、平成18年2月1日から心肺機能停止傷病者等に、いち早く応急処置を行うため、直近のポンプ車が救急車より先に到着すると判断した場合、ポンプ車隊を出動させ、救急活動を支援する連携活動を行っています。

令和7年におけるPA連携出動件数は35件で前年比17件の減少となります。発生場所は、住居が27件と最も多く全出動件数の77.1%となっています。（図14・図15・図16）

図14 PA連携署所別ポンプ車出動状況

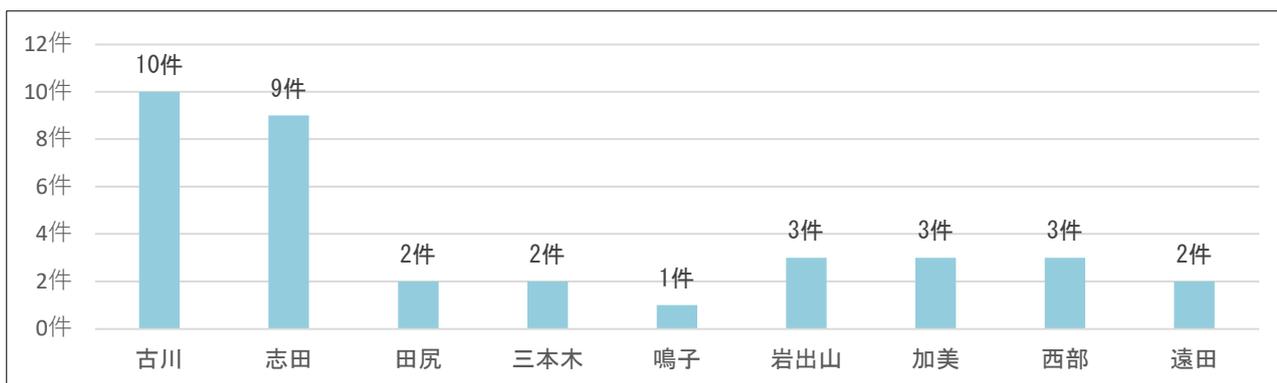


図15 PA連携発生場所

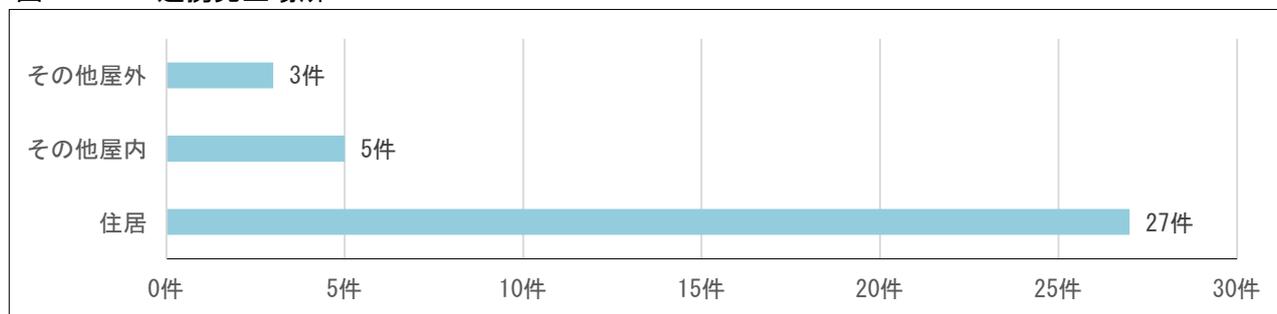
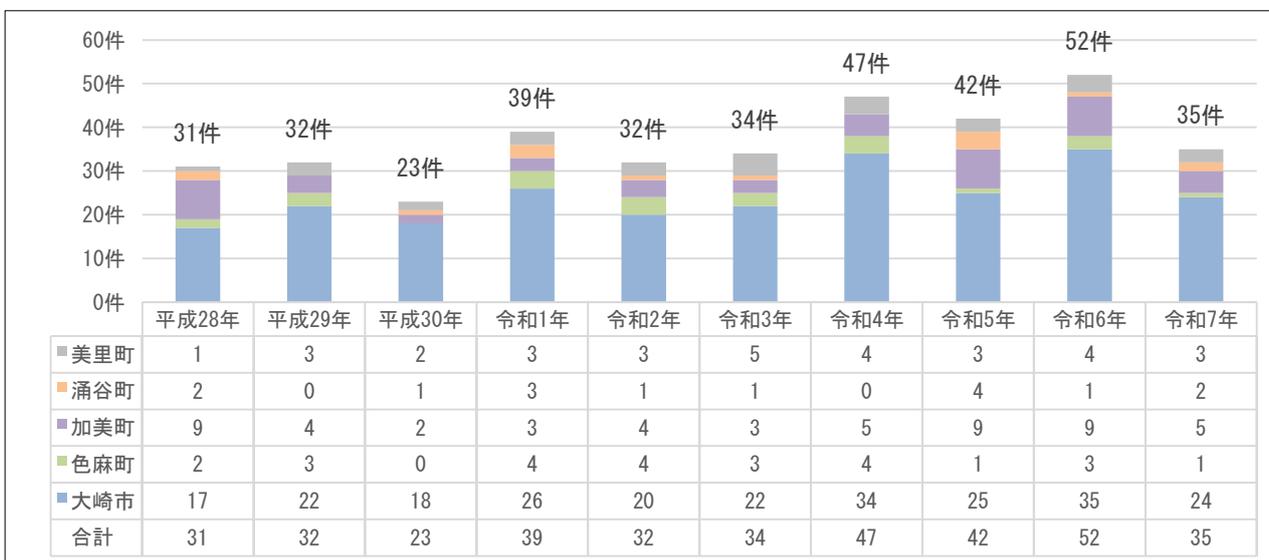


図16 過去10年間のPA連携出動件数



第3章 応急手当講習会等の概要

1 講習会の開催状況

令和7年における応急手当講習会等実施状況は、地域住民、学校、事業所等を対象に、普通救命講習118回(1,818人)、上級救命講習5回(55人)、普及員講習3回(9人)、救命入門コース207回(3,932人)、応急手当講習24回(512人)、合計357回を開催することができ、6,326人が受講しております。

また、令和2年から新しい講習スタイルとして、WEB講習（e-ラーニング）を導入いたしました。インターネット上で応急手当の重要性や心肺蘇生法等の知識を事前に学習していただくことで、上級救命講習及び普通救命講習の座学講習を1時間短縮することができるようになっております。（表11）

表11 講習会別受講人員

種 別	開催回数	受講人員	内 容
普通救命講習会	118回	1,818人	心肺蘇生法（成人）・大出血時の止血等の講習（講習時間3時間）
うちWEB講習	42回	636人	（講習時間2時間）
上級救命講習会	5回	55人	心肺蘇生法（成人・小児・乳児）・大出血時の止血・傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習（講習時間8時間）
普及員講習会	3回	9人	事業所・地域団体等の従業員に対して、普通救命講習を指導できるための講習（講習時間24時間）
救命入門コース	207回	3,932人	対象者を小学生中高学年以上（概ね10歳以上）とし、カリキュラムは胸骨圧迫とAEDの使用法
応急手当講習会	24回	512人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの簡単な応急手当の講習
合 計	357回	6,326人	

2 性別・年齢別受講者状況

受講者の年齢構成は、10歳代が最も多く、次いで40歳代、50歳代の順となっています。

性別構成は、男性が2,684人（46.2%）、女性が3,130人（53.8%）となっています。

男女共に中高生の応急手当講習会の参加者が多い結果となりました。（表12）

表12 講習会別・性別・年齢別受講人員

種別	年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
	性別									
普通救命講習会	男	376	89	97	168	152	97	36	1	1,016
	女	316	76	75	122	123	73	17	0	802
	合計	692	165	172	290	275	170	53	1	1,818
上級救命講習会	男	5	2	3	4	1	3	2	0	20
	女	14	6	4	4	7	0	0	0	35
	合計	19	8	7	8	8	3	2	0	55
普及員講習会	男	0	0	1	1	1	2	0	0	5
	女	1	0	0	2	0	0	1	0	4
	合計	1	0	1	3	1	2	1	0	9
救命入門コース	男	557	193	181	222	219	184	72	15	1,643
	女	549	276	350	391	349	232	126	16	2,289
	合計	1,106	469	531	613	568	416	198	31	3,932
合計	男	938	284	282	395	373	286	110	16	2,684
	女	880	358	429	519	479	305	144	16	3,130
	合計	1,818	642	711	914	852	591	254	32	5,814

3 講習会開催の推移

平成9年から開催してきた各種救命講習会の総受講者数は、令和7年までの29年間で92,050人となっています。（表13）

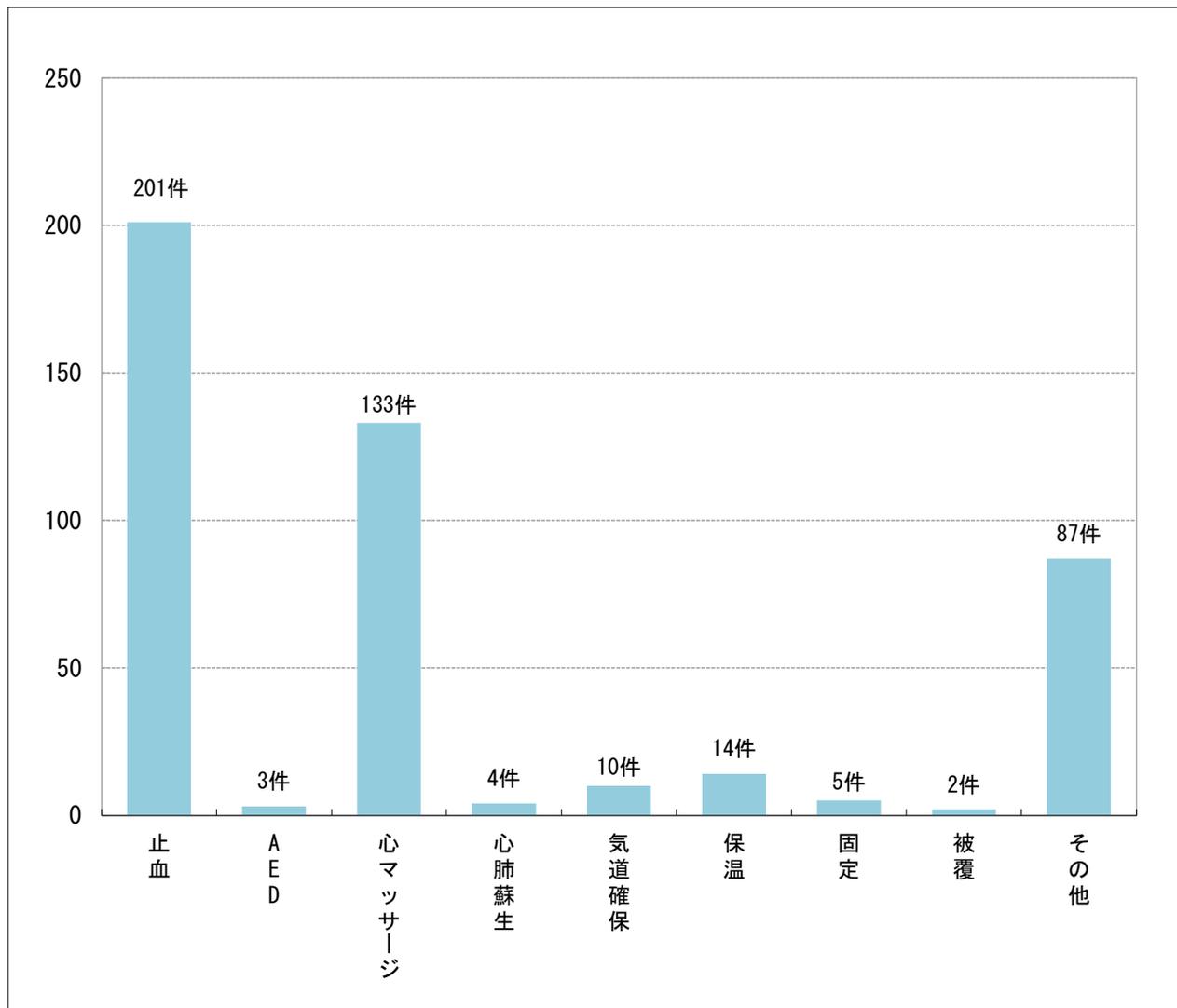
表13 講習会別開催回数・受講人員（平成9年～令和7年）

種別	年別	回数	性別		合計
			男性	女性	
普通救命講習会	平成9～27年	2,616	26,886	28,308	58,414
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
	平成29年	185	1,978	1,632	3,610
	平成30年	150	1,445	1,506	2,951
	令和元年	149	1,592	1,359	2,951
	令和2年	103	797	543	1,340
	令和3年	84	500	463	963
	令和4年	21	104	93	197
	令和5年	132	1,035	1,032	2,067
	令和6年	141	1,117	977	2,094
	令和7年	118	1,016	802	1,818
小計		3,845	37,850	37,985	75,835
上級救命講習会	平成11～27年	103	1,062	1,991	3,053
	平成28年	8	88	113	201
	平成29年	6	76	92	168
	平成30年	7	47	94	141
	令和元年	5	28	80	108
	令和2年	1	8	9	17
	令和3年	0	0	0	0
	令和4年	1	5	1	6
	令和5年	5	23	59	82
	令和6年	7	50	65	115
	令和7年	5	20	35	55
小計		148	1,407	2,539	3,946
普及員講習会	平成12～27年	22	170	236	406
	平成28年	1	5	2	7
	平成29年	1	6	2	8
	平成30年	2	2	11	13
	令和元年	1	5	4	9
	令和2年	0	0	0	0
	令和3年	0	0	0	0
	令和4年	0	0	0	0
	令和5年	1	5	1	6
	令和6年	1	4	5	9
	令和7年	3	5	4	9
小計		32	202	265	467
救命入門コース	平成24～27年	18	361	393	754
	平成28年	9	147	170	317
	平成29年	11	206	177	383
	平成30年	9	125	118	243
	令和元年	40	452	502	954
	令和2年	22	154	203	357
	令和3年	17	95	124	219
	令和4年	5	31	50	81
	令和5年	76	532	936	1,468
	令和6年	161	1,216	1,878	3,094
	令和7年	207	1,643	2,289	3,932
小計		575	4,962	6,840	11,802
合計		4,600	44,421	47,629	92,050

4 講習会の効果

これまで実施してきた応急手当講習会等の効果として、令和7年における救急出動のうち、救急隊が傷病者のもとへ到着するまでに家族や友人、さらには傷病者の近くにいた住民等による応急手当が459件実施されました。（図16）

図16 住民の行った応急処置件数



また、救急隊が搬送した251人の心肺機能停止傷病者に対して、住民等により心肺蘇生または心マッサージが実施された傷病者は129人(51.4%)で、そのうち救急隊が傷病者を医師に引き継いだ時点で18人(14.0%)の方の心拍が再開しました。

第4章 救助統計

1 救助業務の概況

令和7年における救助出動件数は50件で前年に比べ7件増加し、救助人員は27人で前年に比べ5人増加となっています。これは、7.3日に1件の割合で出動したことになります。地区別の出動件数は、大崎市31件、色麻町2件、加美町6件、涌谷町1件、美里町7件、高速道（管内）2件、高速道（管外）1件となっています。（表14、表15）

事故種別ごとでは、「交通事故」が36件と出動件数全体の72.0%を占め最も多く、続いて「その他」が8件（16.0%）、「水難事故」、「機械事故」が2件（4.0%）となっています。（図17・図18）

表14 地区別救助出動件数前年比較（単位：件）

	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	管外	高速道 （管内）	高速道 （管外）	合計
令和7年	31	2	6	1	7	0	2	1	50
令和6年	21	2	8	2	8	0	2	0	43
比較	10	0	▲ 2	▲ 1	▲ 1	0	0	1	7

表15 地区別救助人員数前年比較（単位：人）

	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	管外	高速道 （管内）	高速道 （管外）	合計
令和7年	19	1	2	0	5	0	0	0	27
令和6年	10	1	5	1	4	0	1	0	22
比較	9	0	▲ 3	▲ 1	1	0	▲ 1	0	5

図17 種別ごと 救助出動件数及び救助人員

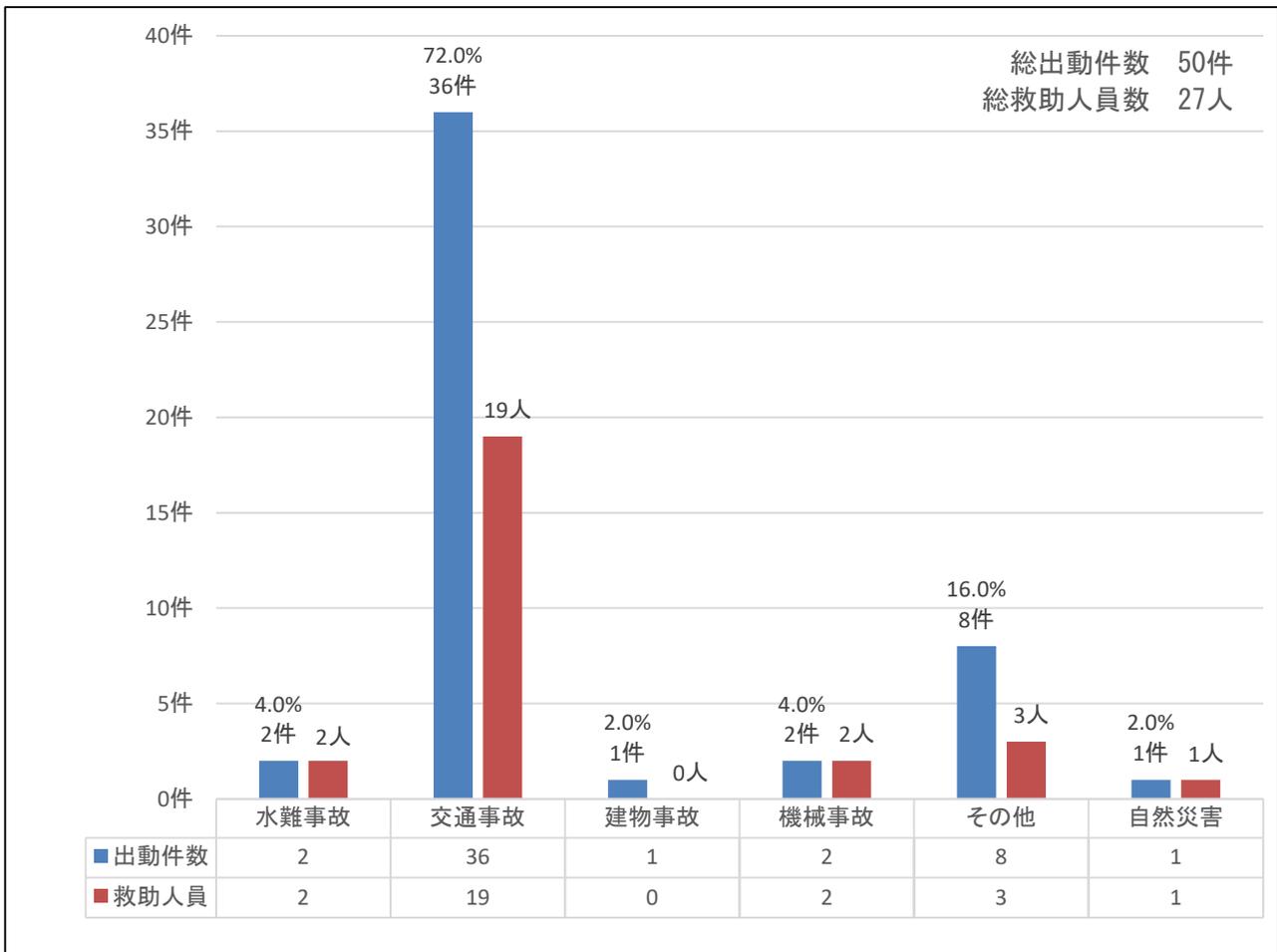
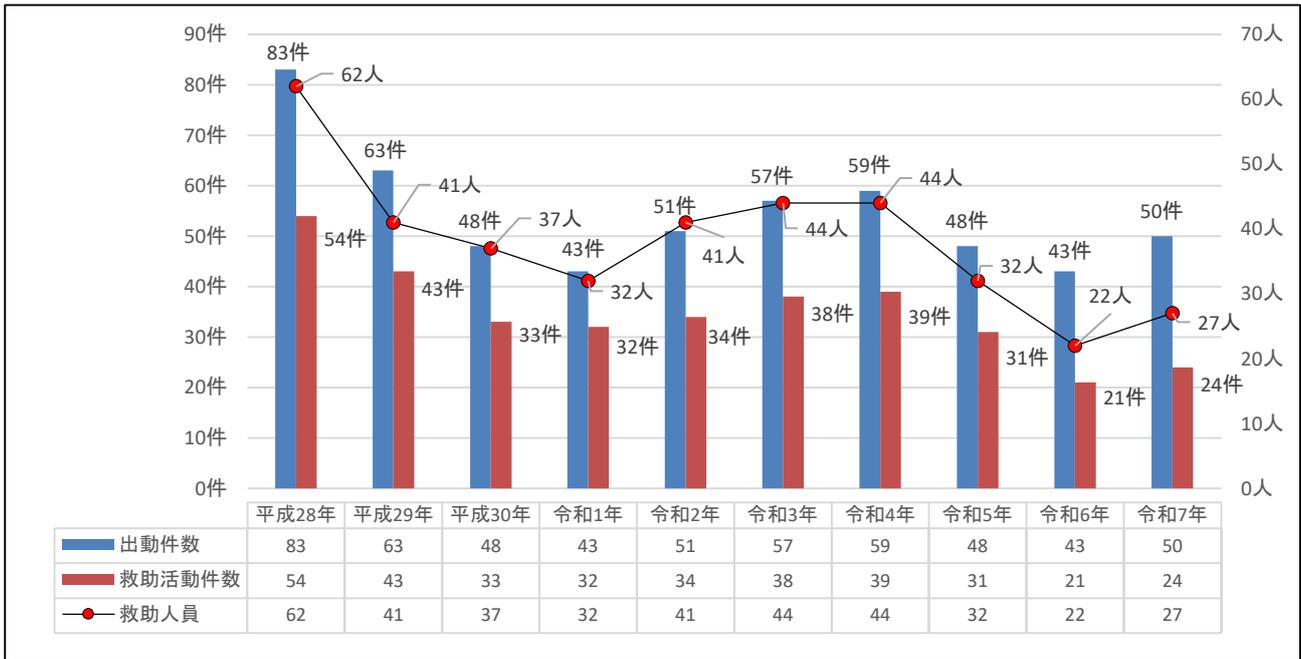


図18 過去10年間の救助出動件数



2 救助人員の傷病程度

救助事案で発生した傷病者の傷病程度は、死亡6人（前年比2人増）、重症4人（前年比1人増）、中等症8人（前年同数）、軽症4人（前年比1人増）、その他5人（前年比1人増）となっています。（表16）

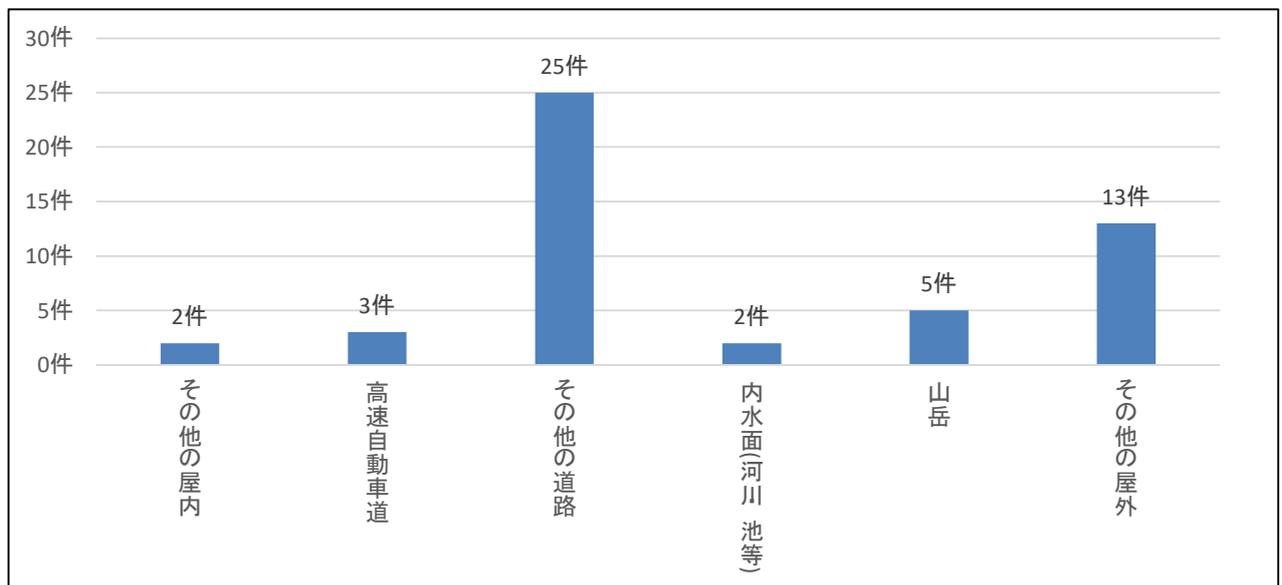
表16 救助人員傷病程度前年比較

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
令和7年	6	4	8	4	5	27
令和6年	4	3	8	3	4	22
比較	2	1	0	1	1	5

3 救助事案発生場所

発生場所については「その他の道路」が25件(50.0%)、次いで、「その他の屋外」が13件(26.0%)、「山岳」が5件(10.0%)となっています。（図19）

図19 発生場所別出動件数





令和7年 消防統計

令和8年2月
大崎消防本部 警防課

